

令和6年度多面的機能 支払交付金事業説明会

福島市 農林整備課

本日の流れ

- 1 多面的機能交付金全般について
 - 2 田んぼダムの経過・これからの取り組みについて
 - 3 土地改良区からの説明
 - 4 グループワーク
- ↑
- メインになります！！



①組織数について

- 規模を改めて確認します。農水省HP参照(令和5年度農地維持)。
- 全国 25, 557組織 平成28年の29, 079から減少傾向。
- 東北 5, 676組織
- 福島県 1, 374組織 東北1位！(2位岩手1, 036、3位秋田991)
56市町村(双葉町、大熊町、檜枝岐村をのぞく)
- 県北 154組織 8市町村
- 福島市 46組織 県内の3. 3%、県北管内の3割程度を占める。

②交付金について(令和5年度)

- 全国 94, 315 百万円(国、県、市合算。以下同じ)
- 東北 21, 867 百万円(全国の4分の1弱！)
- 福島県 3, 223 百万円(全国の3, 4%、東北の15%弱。)
- 福島市 147. 3百万円(県内の4. 6% トップの喜多方市、
郡山市、白河市、会津若松市について5番目！)

②交付金について

- 福島市46組織で、1億4,730万円が交付されています！
- 国や福島県からの補助金もあります！
- すべて税金になります！



- 必然的に、提出しなければならない物(実績報告書)、確認しなければならない物(中間検査、現地確認)が出てきます！

③各種提出物について



期限を守りご提出ください

- 年間を通して各種提出物がありますが、一組織でも遅れると福島市全体に影響します。
- 実績報告書、事業計画書、地域資源保全管理構想の届出等。
- 各種研修会の案内も報告期限があります。

④交付金対象の可否について

- Q 先進地研修に係る旅費
- A 原則日帰り。目的を明確に、行程や参加者等を記載した研修計画を作成。
- また、観光旅行との指摘や誤解を受けない研修であること。
- 行程に観光地等が入っているような研修は、たとえ観光部分を別会計にしても適切ではない。

④交付金対象の可否について

- Q 活動時の弁当、お茶代等
 - A 日当を支払う場合は、原則として弁当は対象外
 - お茶代は対象
 - × アルコール・つまみ類
- ※単価、個数がわかる領収書やレシートが必要

④交付金対象の可否について

- Q 集会所、神社の美化活動への交付金使用
- A 農用地、水路、農道等の施設周辺のゴミを定期的に除去する活動には使用できるが、
- 集会所、神社のみの美化活動は×

④交付金対象の可否について

- Q 地域資源や農村環境の保全に関連しない活動
- A 地域の祭りや伝統行事(祭りや行事などへの現金の寄付・協賛金・お神酒代)、自治会や学校の運動会などは、対象となりません。

講師報酬について

謝金の支払基準

省庁			役職		
デジタル庁	経済産業省	厚労省	大学	民間	市町村
R6.3.5	H27.3.6	-			
¥11,400	¥11,300	¥11,300	学長級	会長・社長	知事・市長
¥9,800	¥9,700	¥9,700	副学長		
¥8,800	¥8,700	¥8,700	学部長		
¥5,200	¥5,100	¥5,100	講師	課長代理	室長級
¥1,600	¥1,600	¥1,600	助手	係員	係員

※ 1 時間あたりの単価。

返還金とならないためにご協力お願いします。



ご清聴ありがとうございました。

福島市 農林整備課

グループワーク①

長寿命化交付金を自治体
側の立場から考える

進め方

- ▶ 1 市から内容を説明します
- ▶ 2 グループ内で役割を決めます
①進行役 ②書記 ③発表
- ▶ 3 グループ内で意見を集約(20分)
ふせんを活用し、同じ意見を集約
するなどまとめる。
- ▶ 4 発表！！ (15分)

①長寿命化交付金を自治体側の立場から考える

▶ 現状・課題

- ・3年毎に協定期間がある
- ・面積に応じた交付金なので、組織によっては複数年まとめて実施している
- ・新規要望しても財源上認められない場合がある
- ・ある程度整備されているが交付金がもらえるから実施している
- ・事前協議無しに実施していた経過もある

▶ 今後

交付金をどのように配分すれば良いか

例:均一化を図る、協議無しはペナルティを設ける など

スタート！

グループ内で意見をまとめてください！

20分後、発表です。

グループワーク②

組織の将来について
～永続するために～

進め方（一回目と同じです）

- ▶ 1 市から説明
- ▶ 2 役割を決める
 - ①進行役 ②書記 ③発表
- ▶ 3 意見を集約(20分)
- ▶ 4 発表！！（15分）

②組織の将来について ～永続するために～

▶ 現状・課題

- ・ 役員の高齢化
- ・ 担い手が見つからない
- ・ 少子高齢化 = 人口の減少
- ・ 事務作業の問題（各種提出物）

▶ 今後

- ・ どうすれば各組織が永続して活動できるか？
例：事務委託、合併、広域化の検討など

スタート！

グループ内で意見をまとめてください！

20分後、発表です。